

## たべる からだ 園児楽しく学ぶ



小腸の長さをエプロンシアターで学ぶ  
園児ら＝碧南市末広町の天道保育園で

碧南で「エプロンシアター」

碧南市末広町の天道保育園で30日、食育をテーマとしたエプロンシアターがあった。5歳児30人が楽しみながら栄養バランスの大切さを学んだ。

生活協同組合コープあいちの西三河ブロックコープサポーターの2人が、胃などをあしらったエプロンを使い、栄養を吸収する小腸の長さを紹介するなど内臓の動きを説明した。

愛知教育大が考案した「食まるファイブ」の人形を使い、肉や魚の「にくま

る」、米やパンの「りきまる」など食べ物を5種類に分け、それぞれの栄養について話した。最後には食まるファイブの歌に合わせて園児が体を動かし、運動する大切さも学んだ。

同サポーターの管理栄養士、柴田美由紀さん(58)は「好き嫌いせずに何でも食べられるようになってほしい」と話した。エプロンシアターは2006年度に始まり、本年度は碧南の3保育園、3幼稚園で行う。

(西山和宏)